

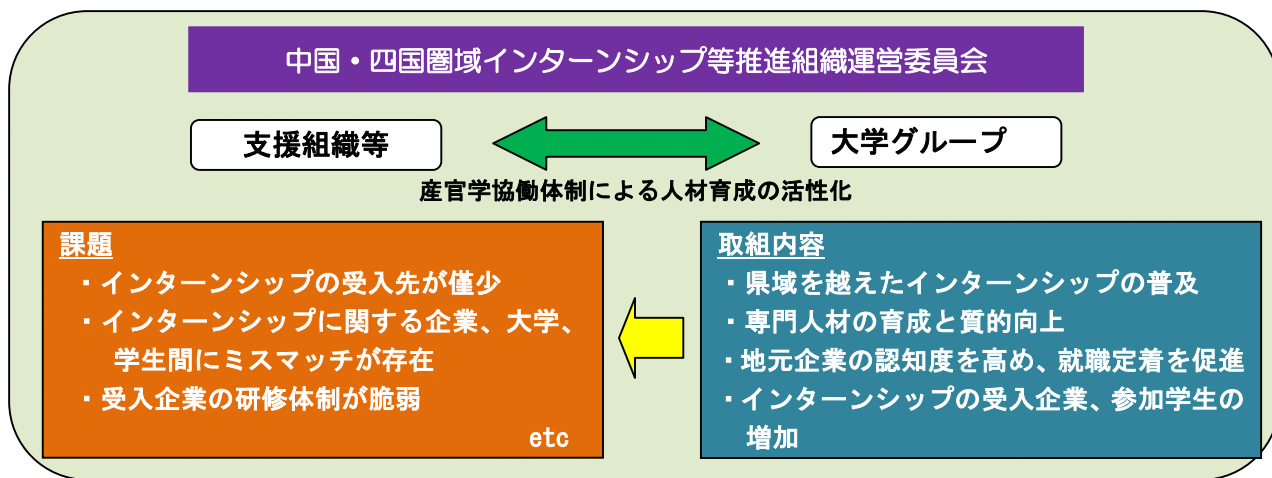
「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」
 「大学教育再生加速プログラム(インターンシップ等を通じた教育強化)」
 最終評価結果

大学グループ名	島根大学グループ
取組名称	中国・四国圏域での産官学協働によるインターンシップ等の推進
地域インターンシップ推進組織名	中国・四国圏域インターンシップ等推進組織運営委員会
取組担当者	島根大学 理事(教育・学生支援担当副学長) 荒瀬 榮
連携校名(★幹事校)	★島根大学、愛媛大学、島根県立大学、岡山県立大学、尾道市立大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、くらしき作陽大学、広島修道大学、福山大学、山口東京理科大学、四国大学(計12校)
連携したインターンシップ等支援組織等名(団体名・企業名等)	中国経済連合会、四国経済連合会、株式会社 シーズ総合政策研究所、NPO 法人 ETIC.、一般社団法人 中国地域ニュービジネス協議会、広島県インターンシップ促進協議会、広島経済同友会、広島県中小企業家同友会、広島県、岡山県中小企業団体中央会、岡山県経済団体連絡協議会、大学コンソーシアム岡山、倉敷商工会議所、玉島商工会議所、児島商工会議所、一般社団法人 水辺のユニオン、岡山県、倉敷市、総社市、山口県経営者協会、山口県インターンシップ推進協議会、山口県、島根県経営者協会、公益財団法人 ふるさと島根定住財団、NPO 法人 てごねっと石見、徳島県産官学人材育成連携会議、松山市商工会議所青年部、愛媛県

事業概要

「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(テーマ A)」において培ってきた中国・四国地域の大学・短大と産業界等との連携をもとに、PBL やインターンシップ等の地域密着型産官学連携教育(以下、インターンシップ等)を推進することで次世代を担う人材育成の活性化を目指す。

※詳細は、最終成果報告書(<http://shienp2.jn.shimane-u.ac.jp/Portal/b/2016/2016.5.2.html>)参照



最終評価結果<総合評価> S

《コメント》

瀬戸内海を挟んだ広域での連携であり、産業構造が異なる地域という難しい条件下ではあったが、大学単位、県域単位、県域を越えた事業圏域の設計が計画的に構築され、着実に事業を実施するための体制が強化された。受入企業数、参加学生数は定量的な評価基準が具体的に設定されており、目標を上回る成果を上げている。特に、学生の動きを考慮しながら、県域を越えたインターンシップを実践するための受入れ先リストを作成して相互乗り入れを実施したことにより、県域を越えたインターンシップ参加学生数が顕著に増加したことは高く評価できる。今後の継続体制についても協定書の調印がなされ、見通しが立っている。広域連携の一つのモデルが示された事業である。

一方で、インターンシップの拡充に対応する評価の工夫等、評価に関わる取組には課題が残った。また、連携体制の構築に注力したため、専門人材の育成については十分な取組が実施されなかった。

今後は、新たに設置した「中国・四国地域人材育成連携協議会」を中心に、より強固に連携し、専門人材の育成を進めながら、広域連携を生かし、地域を横断した学生の動きや、その後の就職活動までを視野にいれたフォロー体制を構築しつつ、事業を拡大、継続することを期待する。